

2025

議会だより

ふそく

第264号

1月臨時会
3月定例会

2月18日に行われた扶桑町ボランティア団体との意見交換会



主な内容

- 特集記事 意見交換会 P2～P3
- 3月定例会の概要「新年度の主要事業」 P4～P5
- ここが聞きたい 13議員が一般質問 P10～P16
- キラリまち人 紹介 P18

発行/扶桑町議会 編集/議会だより編集特別委員会

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道330 TEL: 0587-92-4130 FAX: 0587-92-1381 E-mail:gikai_sc@town.fuso.lg.jp 発行日/令和7年5月1日

～災害時の要支援者避難方法～



災害が起きた時に誰が救助しに行くか書く欄があるが書かれていない。誰が救助するのかを今後検討してほしい。

災害が起きてからでは遅いので、役場側と現実的な話になるよう進めていきます。



「災害弱者をいかに避難させるか」に不安を感じています。議会として今後対処してほしいです。ふそう女性防災の会～ラディッシュ～ 小林さん



今後もこのような意見交換会の開催を続けていってほしいです。ふそう災害ボランティアセンターの会 堀田さん



こんなご要望もありました

- 木曾川沿いのサイクリングロードの価値が増していると思うので、景観を取り戻せるようお願いしたいです。
- 儀典用端折長柄傘のミニチュアなどが返礼品にあったら嬉しいです。
- いろいろな世代の方が、議員になられたので活力のある扶桑町議会をよろしくお願いします。



扶桑町ボランティア連絡協議会 意見交換会



令和6年度扶桑町議会の取り組みとして、2月18日に扶桑町総合福祉センターにて、日頃より扶桑町内でボランティア活動に取り組まれている“扶桑町ボランティア連絡協議会”の皆様と意見交換会を開催させていただきました。皆様扶桑町の未来に向けて大変前向きなご意見をいただき頼もしい限りでした。扶桑町議会としても今回いただいた意見を活かして活動していこうと思っております。

～ふるさと納税への提案～



返礼品でどんなものを送っていますか？
扶桑町は文化のまちであり、文化会館では歌舞伎公演があります。
歌舞伎の券を配るのもいいのではないかと思います。

歌舞伎の券も数年前に実施していましたが、ふるさと納税の応募は1件もありませんでした。
今後も町全体で考えることが大切ですので、皆さんの意見から採用できるものは採用していこうと思っております。



～パブリックコメントの期間～



パブリックコメントの募集の件ですが、1ヶ月だけの募集でしたが、事前に周知はされていきましたか？
書こうと思うと全部読んだ上で書かないといけなくて時間がかかります。
時間がなく書けなかったのも、もっと早く知りたかったです。

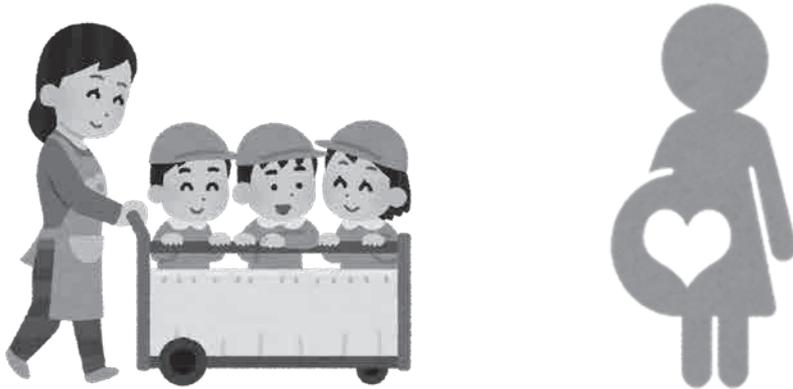
パブリックコメントの内容は、かなりボリュームがあります。
町にもスケジュールがあるので、町に要望させていただきます。



育てを重視した予算編成!

こども家庭センター(母子保健)事業 2700万円

現行の「出産・子育て応援金事業」が、「妊婦のための支援給付金事業」へと制度改正されることに伴い、妊婦と胎児の数に応じて給付金の交付を行うとともに、妊娠期からの切れ目ない相談支援を一体的に実施することで、子育て支援施策の更なる拡充を図る。



乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

547万円

令和8年度からの本格実施を見据えた「乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)」を行う。



水道基本料金減免事業

4862万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等の支援策として、水道基本料金を4か月間(4・6月検針分)免除する。

学校給食費軽減事業

2541万円

保育所主食費等軽減事業

185万円

扶桑町立小中学校児童生徒の学校給食費1食50円を町が負担する。
保育園の主食費及び副食費1食16円を町が負担する。



令和7年3月3日から27日まで3月定例会が開催されました。
今回の定例会では令和7年度一般会計をはじめとして各特別会計の予算案が提出され審議の結果、原案どおり可決しました。

令和7年度は **健康と子**

主な事業内容

(万円未満切り捨て)

一般会計

133億4000万円



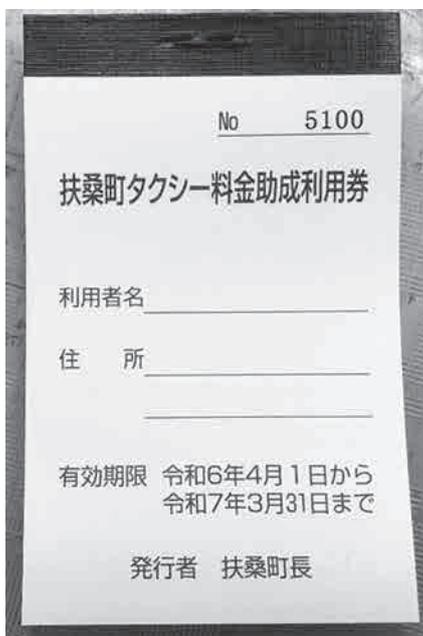
小学校体育館空調設備設置事業 2億9431万円

小学校4校の体育館に、災害時に強いLPガスを燃料とするエアコンを設置。10月頃工事着工、2月中の供用開始予定。

健康推進事業

2239万円

女性がん(子宮頸がん、乳がん)の早期発見、早期治療につなげることを目的とし、がん検診メニューとクーポン配付対象者の拡充を行い、受診率の向上を図る。



タクシー料金助成事業

1533万円

江南厚生病院、総合犬山中央病院、さくら総合病院への利用に限り、片道につき2枚のチケットが使用できるよう助成する。

こんなことを聞きました

令和7年度扶桑町一般会計予算(総務経済常任委員会所管部分)

ネーミングライツ事業

問 対象としている施設名または事業名は。

答 現在対象と考えているのは、他市町でも導入実績が多く利用客の多い体育施設。具体的には、総合体育館で導入できないか考えている。実施要項を定め、ネーミングライツ契約企業の応募資格や、中途解約などについても規定して適正に運用するようにルール化していく。

長期優良住宅等定住促進補助事業

問 令和5年度から7年度までの3ヶ年の事業か。

答 若者世帯や子育て世帯の本町への移住・定住と、環境負荷を低減する住宅取得を促進するため、補助金を支給し、定住人口の増加と活力あるまちづくりを推進している。3ヶ年でまず事業の検証をしている。

街路灯撤去費補助事業

問 商工会が管理する街路灯の撤去は。

答 商工会が管理する街路灯については、設置後30年が経過し、老朽化が進んで危険なため、商工会に対して、県及び町が撤去費の一部を助成する。

木造住宅除却事業

問 木造住宅除却事業は。

答 木造耐震診断の結果、倒壊の危険性がある旧基準木造住宅の除却費補助金を新設し(20棟分)住宅所有者の負担軽減のため制度を構築する。



(倒壊の恐れがある木造住宅)

道路維持補修事業

問 本町の側溝整備率は60%強と認識しているが、住民要望も踏まえた事業になっているか。

答 令和6年度、7年度地区要望の延長に対して、側溝新設工事は65%程度、側溝修繕工事は71%ほど完了し、町内全域の幹線道路及び生活道路において維持管理・道路整備を行い、快適な生活空間の創設を図る。



(扶桑発展会の街路灯)

予算決算特別委員会(総務経済所管分)への付託案件として令和7年度扶桑町一般会計予算(所管部分)を含む、議案3件を審査しました。

総務経済常任委員会

扶桑町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

問 地域手当が3%から6%になる状況は。

答 今までの地域手当は、市町村単位で区分されていたが今回の人事院勧告で基本的には都道府県単位で整理された。

扶桑町行政財産の特別使用に係る使用料条例の一部を改正する条例について

問 駐車場の敷地として使用する場合、月額2500円から3000円になるがその理由は。

答 周辺の駐車場使用料が値上がりしており、今回その動向を鑑み、又財源確保から増額する。

総務経済常任委員会への付託案件として、議案19件を審査しました。

予算決算特別委員会



(部活動の様子)

令和7年度扶桑町一般会計予算(福祉教育常任委員会所管部分)

地域クラブ活動推進事業費

問 部活を12部活動から20部活動に上げると聞いているが、どんな部活を広げるのか。

答 令和6年度まで12部活動だったが、令和7年度から20部活動に拡大する計画をしている。扶桑中学校では野球部、卓球部男子、ハンドボール部男子、扶桑北中学校では野球部、ソフトボール部女子、バスケットボール部女子、バレエ部女子、吹奏楽部の8部活動が増える。

老人福祉一般事務費

問 高齢者見守りステッカーはどのように募集されるのか。

答 イメージとしては、こども110番の家と同じようなステッカーを掲示していただける事業所や個人宅を対象とし、高齢者あんしんネットワーク会議に加盟された事業所や民生委員・児童委員協議会を通じ募集。さらに協力してもらえらる個人の方をホームページなどで周知し募集する。

情報教育推進事業

問 GIGAスクールのためのICT支援員の配置の検討は。

答 町内4小学校2中学校で使用しているタブレット端末はGIGAスクール第2期にむけて、学校教育課の担当と指導主事、各学校の校務主任で連携して対応していく。より高度で専門的な知識が必要となった場合にはICT支援員に依頼することも検討していく。

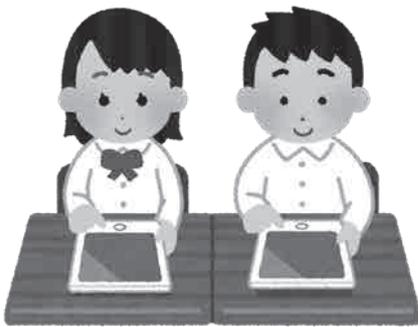
令和7年度扶桑町介護保険特別会計予算

認定調査費

問 介護認定の対象者が増えていると聞けが、審査会数は問題ないか。

答 新年度からペーパーレス会議のシステムを導入し、審査会の処理力の向上を図っていく。

予算決算特別委員会(福祉教育所管分)への付託案件として、令和7年度扶桑町一般会計予算(所管部分)を含む、議案4件を審査しました。



福祉教育常任委員会

扶桑町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

問 実施を見据えた事業を展開する市町村はどのくらいあるか。

答 愛知県下では6市町村が実施予定と県から報告を受けている。

令和6年度扶桑町一般会計補正予算(第8号)(所管部分)

問 施設型給付費負担金及び地域型保育給付費負担金が減額になった理由は。

答 施設型給付費負担金は、新しく認定こども園となった施設の利用人数の実績減であり、地域型保育給付費負担金は事業所内保育事業所の利用を3園と見込んでいたが、実際は1園であったためである。

福祉教育常任委員会への付託案件として、議案12件を審査しました。

令和7年第2回(3月)扶桑町議会定例会 議員別審議結果一覧表

○賛否が分かれた案件

議案等	会派・議員	議決結果	桑政クラブ							新政クラブ				日本共産党	公明党	無所属		
			市橋英男	伊藤猛	大河原光雄	兼松伸行	近藤裕	澤田憲宏	杉浦敏男	丹羽友樹	間宮幹男	片野泰雅	千田勝文	高橋怜央	和田佳活	荒木孝三	佐藤智恵子	山田惇起
◆議案																		
第22号	扶桑町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	○	○
第34号	令和7年度扶桑町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○※	-	○	○	○	○	○	●※	○	○
第36号	令和7年度扶桑町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○※	○	○	-	○	○	○	○	○	●※	○	○
第37号	令和7年度扶桑町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●※	○※	○

賛否状況 ○：賛成 ●：反対 -：議長は採決に加わらない。※：討論者
議決結果一覧は、扶桑町ホームページ(扶桑町議会)でご確認いただけます。

令和7年度一般会計予算

賛成討論



将来を展望した適正な予算!

桑政クラブ 杉浦 敏男 議員

本予算案は、児童手当支給事業の拡充、新たな乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)、町内小中学校のタブレット端末の更新事業、タクシー料金助成事業の拡充、重層的支援体制整備事業の開始、今後発生が見込まれる大規模災害に備えるため、指定避難所となっている町内4小学校に炊き出し用機材及び各小学校体育館に災害に強いLPガスを熱源とする空調設備設置工事、扶桑北中学校校舎の非構造部材耐震化工事、既存の事業のうち現状の課題を踏まえた事業見直し等、防災減災の強化、少子高齢化への対応、公共施設の老朽化に伴う改修などをはじめとした急務の課題に対応した町民の安心安全なまちづくりを進め、将来を展望した適正な予算と認め賛成する。

反対討論



住民の命や暮らしを守れ!

日本共産党 荒木 孝三 議員

地方自治体の責務は、福祉の増進を第一歩とし、福祉、教育に手厚い予算を計上し、住民の皆さんの暮らしを守るものでなければならないと指摘している。本予算案は、妊婦のための支援給付金事業、小中学校児童生徒の第3子以降の学校給食費無償化、タクシー料金助成の改善など、これまで求めてきた施策が計上され、具現化については評価するが、高齢者の日常生活支援、子ども・子育て支援施策、光熱費の高騰に伴う生活支援などについては、十分な施策が行われたとは思えない。住民の命や暮らしを守る町政の務めを十分に果たせているとは言えず、全体的には評価できない。よって本議案には反対する。

1月臨時会

令和7年1月24日(金)に臨時会を開催し、条例改正5件、補正予算4件、工事請負契約1件の審議を行いました。主な内容は次のとおりです。

条例改正

扶桑町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

国家公務員の給与改定に準じて改正するものです。

一般会計補正予算

一般会計補正予算(第7号)は、歳入歳出それぞれ2億2279万8千円を追加し、総額132億8173万4千円となっています。

(万円未満切り捨て)

物価高騰重点支援給付金支給事業費(令和6年度国補正予算分)

8279万円

低所得世帯(令和6年度住民税非課税世帯)に対し、支援給付金1世帯当たり3万円を支給。また、当該支給対象者(世帯主)の世帯員のうち、18歳以下の児童1人当たり2万円を加算し支給するものです。



(築26年目を迎える扶桑町総合福祉センター)

工事請負契約の締結

総合福祉センター空調設備等改修工事 2億2517万円

空調設備、給湯設備を改修し、自家発電設備を設置するものです。

令和6年度 議長交際費と政務活動費 報告

議長交際費執行状況

費目	件数	金額(円)
会費	4	35,000
弔慰	4	33,700
激励	1	10,000
賛助	3	15,000
手土産	4	46,571
合計	16	140,271

政務活動費収支報告

- ・ 交付対象 会派又は議員の職にある者
- ・ 交付金額 1人当たり年額6万円
- ・ 用途基準 (政務活動費を充てることができる経費の範囲)

研究研修費(研究会等負担金、講師謝礼等)
調査旅費(先進地調査経費)
資料作成費(印刷製本費、翻訳料等)
資料購入費(書籍、資料等の購入費)
広報費(広報紙、報告書印刷費等)
会議費(会議費、器材借上げ料等)



各会派等の収支報告内容

	収入(円)	支出(円)					支出合計	返還金(円)
		研究研修費	調査旅費	資料作成費	広報費	資料購入費		
桑政クラブ(9名)	540,000	0	383,360	0	0	161,573	544,933	0
新政クラブ(4名)	240,000	0	182,880	0	0	71,060	253,940	0
日本共産党(1名)	60,000	0	0	0	0	0	0	60,000
公明党(1名)	60,000	29,710	0	0	0	14,327	44,037	15,963
無所属(1名)	60,000	0	66,285	0	0	0	66,285	0

政務活動費収支報告書・議長交際費の詳細は町ホームページでも公開しています。

一般質問

13議員が質問

扶桑町ホームページ
「一般質問録画配信」



「扶桑町議会 一般質問
通告書一覧」



町を魅力的に推進するPRを

効果的なプロモーションを検討



新政クラブ
たかはし れお
高橋 怜央 議員



問 転入者獲得に向けて町の魅力的な施策を押し出すようなPRを考えてはどうか。

答 **総務部長** 本町では、移住定住の促進を

目的として、令和5年

度より「長期優良住宅

等定住促進補助金事

業を実施している。本

事業については、近隣

のハウジングセンター

で開催された移住イベ

ントへのブース出店を

はじめ、様々な場所

幅広くPRを行っている。

令和6年度からは

「にぎわい創出事業」を

開始し、各イベントに

おいて本町のPRブー

スの展開に加えて主催

団体への補助金の要件



(イオンでのにぎわい創出事業)

としてSNSの発信に
対する反応数を設定す
るなど町の魅力を町内
外に発信するための新
たな工夫を取り入れて
いる。

また、中日新聞が運営
する情報アプリ「ロー
クル」における町政情
報の発信、元気な免疫
プロジェクトの取り組

みを紹介するテレビ放
送などを通じて情報発
信してきた。今後もこ
うした取り組みを継続
的に実施し、町ホーム
ページや公式LINE
などの広報媒体も活用
しながら、より効果的
なプロモーションの展
開を検討していく。

質問者

件名

ページ

高橋 怜央	町を魅力的に推進するPRを	10
近藤 裕	町内の下水道は安全か	11
杉浦 敏男	予算の方針は	11
片野 泰雅	補助金検討部会の仕組みづくりは	12
和田 佳活	今後の財政運営の進め方は	12
澤田 憲宏	ぷらねっと移転後の活用は	13
山田 惇起	放課後児童クラブ館にWi-Fiを	13
佐藤智恵子	乳がん検診受診率向上を	14
間宮 幹男	都市公園の管理運営は	14
荒木 孝三	特定健診に聴力検査追加を	15
市橋 英男	ふるさと納税の取り組みは	15
兼松 伸行	扶桑町総合計画のあり方は	16
大河原光雄	組織改編による効果は	16

町内の下水道は安全か

安全性は高い水準にある



桑政クラブ
こんどう ひろし
近藤 裕 議員



問 今年1月28日埼玉県八潮市の交差点で下水道管が破損し、大規模な陥没事故が発生した。この事故により広範囲で約120万人が下水道の使用制限を受け、半径200m以内に住む約200世帯に対して避難指示が出された。この陥没事故をどう思うか。

答 産業建設部長 事故発生後、当町でも道路の路面を自視にて確認し、一部のマンホール内部の点検も行った。道路陥没は規模の大小に関わらず発生しており、道路管理者、下水道管理者が協力して事故を未然に防ぐよ



(汚水管の施工状況)

う、維持管理に努めていく必要があると感じている。

問 八潮市の事故を踏まえ、当町の下水道は安全であるか。

答 産業建設部長 当町の汚水管は平成7年の阪神淡路大震災を受け、国により大幅に見直された下水道の耐震基準・構造基準に基づ

き、平成10年から下水道整備を行っている。また、毎年定期的に下水道が埋設されている道路の舗装の下がりや、マンホールの状態などを自視による一次点検を行っている。耐用年数も十分あり安全性は高い水準にあると考えている。

き、平成10年から下水道整備を行っている。また、毎年定期的に下水道が埋設されている道路の舗装の下がりや、マンホールの状態などを自視による一次点検を行っている。耐用年数も十分あり安全性は高い水準にあると考えている。

予算の方針は

取捨選択し、見直しを進める



桑政クラブ
すぎうら としお
杉浦 敏男 議員



問 今後さらに進む人口減少、少子高齢化への対応。防災、減災対策の強化及び公共施設の老朽化等、取り組みの方針は。

答 副町長 今後発生が見込まれる大規模自然災害等に対応するためのハード事業、ソフト事業を推進し、町民の誰もが安心して暮らせる町の実現に向けた取り組みを強化。DXの推進やカーボンニュートラルの実現など、新たな行政課題に対応するための事業。公共施設やインフラ施設について、耐用年数や今後の施設のあり方、整備手法等を踏ま



(扶桑町役場)

えた計画的な維持管理。少子高齢化の進展による新たな地域課題や、町民、地域からの要望など、諸課題を整理し解決に向けた方針の検討、推進を図る。

問 既存の各事業等の見直しと課題は。

答 副町長 「時代の要請により転換していく事業」、「目的を達成したと判断できる事業」、「一時的に中止する事業」、「成果の出ない事業」などを取捨選択し、事業の廃止や縮小、転換を行うなどの見直しを進める。

補助金検討部会の仕組みづくりは

実施計画策定のなかで

検討・検証



新政クラブ
かたの たいが
片野 泰雅 議員



問 業務に対する豊富な経験と深い知識を持っていて、将来の町の発展と住民サービスの向上において重要な役割を果たしている中堅職員に、10年後を見据えた政策や施策を全庁横断的に検討してもらい、その結果を町長・部長会議で報告し、実施に向けた具体的な計画が策定されるといった補助金検討部会の仕組みづくりについて、当局の考えは。

答 以上は、町長が考える町の課題について、町長・副町長・総務部長・財政管財課長に加え、部ごとに部長・課長が集まり課題解決に向けて議論を行っている。補助金の新設、見直し、廃止についてもこの場で議論している。以上の観点から、補助金においても町長ミーティング、実施計画策定のなかで引き続き検討・検証を行い、効果的な事業化を図ることが最善であると考えている。



(補助金一覧と予算書)

答 総務部長 事業決定の過程では、町長の意向を政策に反映させるための「町長ミーティング」を実施している。町長ミーティ

今後の財政運営の進め方は

行政改革推進本部で

方向性を示す



新政クラブ
わだ よしかつ
和田 佳活 議員



問 令和7年度予算編成の課題は。

答 総務部長 物価高騰や人件費の上昇などの影響により経常経費が大きく増加した。見直しも含めた事業の精査を行い、町民の暮らしに優先度の高い事業に集中していくことを基本として予算編成に取り組んだ。

問 今後、公共施設再編計画の議論が進むなか、保育施設のあり方を始め、「持続可能な財政運営」のため進めるべきと考える。今後の財政運営の考え方は。

答 副町長 無償化競争や横並びの行政サービスのは、本町

として本来に必要なニーズに 대응することがこれからの課題と考えている。長期的な課題と「持続可能な財政運営」については、行政改革推進本部で公共施設等総合管理計画を始め、様々な分野についての方向性を示していきたい。

答 総務部長 各事業の実績を踏まえ、一定の役割を終えた事業や他の既存事業などで代替できる事業は、緊急性や優先度を考慮したうえで廃止や縮小、転換を行っている。



(国道41号沿い壁面モニュメント)

ぷらねっと移転後の活用は

文化財資料室としたい



桑政クラブ
さわだ のりひろ
澤田 憲宏 議員



問 中央公民館にある文化財の管理状況は。

答 教育部長 町指定文化財が頭椎直刀と切支丹関係古文書の一部の2点、指定されていない民俗資料が約200点あり、書庫に鍵をかけて保管している。

問 文化財の公開、活用は。

答 教育部長 中央公民館では頭椎直刀をガラスケースでその他の民俗資料を一部館内で展示している。また、南山名の川田家住宅にて「ふるさと学サロン扶桑」と共催で令和4年から毎年開催している企画展に民俗資料を貸し出している。



(中央公民館玄関入口付近)

問 ぷらねっと扶桑移転後の部屋の活用は。

答 教育部長 文化財資料室として展示していきたいと考えている。

。今後は文化財保護審議会で意見を聞きながらどのように展示していくか検討していく。

放課後児童クラブ館にWi-Fiを

夏休み前までに整える



無所属
やまだ あつき
山田 惇起 議員



問 小中学生はGIGAスクール構想により、タブレット端末を1人1台持っている。

しかし、放課後児童クラブ館にはWi-Fiが無いため、タブレット端末で出された学校の宿題ができません。

現状が、保護者の方からも「宿題を終わらせて帰ってきてくれたら嬉しい」という声がある。放課後児童クラブ館への導入予定は。

答 教育部長 令和7年度の夏休み前までに館内全体で利用できるようWi-Fi環境を整える予算を計上している。

問 Wi-Fi導入に合わせて、電子書籍の活用はできないか。

答 教育部長 初期導入費、毎月の維持費、図書購入費に代わる費用に相当な費用がかかること、同時閲覧ができないことや閲覧回数の制限があることなど課題も多いため、考えていない。

費用がかかること、同時閲覧ができないことや閲覧回数の制限があることなど課題も多いため、考えていない。



(柏森放課後児童クラブ館)

乳がん検診受診率向上を

30歳の方にも無料クーポン配布



公明党
さとう ちえこ
佐藤智恵子 議員



問 乳がん検診の受診率の推移は。

答 健康福祉部長 令和3年度8・2%、令和4年度8・6%、令和5年度9・3%、令和6年度見込みにおいても9・3%と微増している。

問 女性特有のがんは若年化が進み、20〜40代で発症するケースが急増している。更なる受診率向上の取り組みは。

答 健康福祉部長 乳がん検診無料クーポンの配布対象者を、従来までの40歳の方に加え、新たに30歳の方にも対象年齢を拡充し、エコー検査での受診機

会を設けていく。

問 乳がんは唯一自分で発見できるがんと言われていて。日頃から自分の胸を触って些細な変化に気づくことが大事である。セルフチェックシートが有効と思うが、配布の予定

はあるか。

答 健康福祉部長 が検診の受診者や保健センター、児童センターなどの公共施設の来訪者に配布し、周知を図ることで早期発見、早期治療に向けて取り組んでいく。



(セルフチェックシート 例)

都市公園の管理運営は

資格を有する業者に委託



桑政クラブ
まみや みきお
間宮 幹男 議員



問 都市公園の利用状況は。

答 産業建設部長 町内の都市公園は、年齢問わず日々多くの方に地域の憩いの場として利用されている。特に、木曾川扶桑緑地公園は、町内の利用者のみならず町外の方も多く来園し、日々にぎわっている。

問 都市公園の管理運営は。

答 産業建設部長 園内に設置している遊具は、資格を有する業者へ委託している。また、樹木については、造園業の資格を持った業者へ委託し、剪定、薬剤散布等の維持管理を

行っており、この業務

の中には木曾川扶桑緑地公園の除草作業も含まれている。それ以外の公園の雑草は、逐次シルバー人材センターへ除草作業を依頼している。日常の清掃、簡易にできる樹木の剪定は、会計年度任用職員

が行っている。作業完了後は、職員が報告書をもとに状況を聞き取り、修繕が必要な場合は業者に依頼している。公園の状況を確認し、利用者が安全・安心に利用できるよう努

めている。



(木曾川扶桑緑地公園)

特定健診に聴力検査追加を

現状では考えていない



日本共産党
あらき こうぞう
荒木 孝三 議員



問 我が国では従来保険各法に基づき医療保険者が行う、一般健診、労働安全衛生法・老人保健法の基本健康診断が実施されてきた。生活習慣病が増える中2005年以降新たな健診・保健指導の検討が行われ、特定健康診断を実施することになった。町で行う特定健診の状況と検査項目は。

で、詳細項目の追加として心電図検査・眼底検査・貧血検査・腎機能検査を実施している。

問 聴力は、情報の収集や身の安全を守るために、日々の生活で不可欠な役割を果たしている。国民健康保険の特定健診では聴力検査の項目がない。補聴器

購入助成制度の取り組みを活かすためにも検査の実施を。

答 健康福祉部長 特定健診は今後、尾北医師会管内市町において統一していく動きがある。単独で項目を増やすこと、聴力検査を単独で実施することは現状では考えていない。

答 健康福祉部長 特定健康診断は、主にメタボリックシンドロームの判定を中心に生活習慣病の予防に繋げるための保健指導を目的としている。検査項目は血中脂質検査・代謝系検査・肝機能検査等



ふるさと納税の取り組みは

電子クूपン等拡充



桑政クラブ
いちはし ひでお
市橋 英男 議員



問 ふるさと納税の現状は。

答 総務部長 令和6年度には、新たに4つのポータルサイトを追加し、合計8サイトで寄附の受付を行っている。また、ポータルサイトに掲載している返礼品は、現在、登録事業者26社、返礼品の種類も60種類になっている。

問 ふるさと納税への今後の取り組みは。

答 総務部長 今後ポータルサイトの更なる拡充に取り組みことで多くの人の目に触れる機会を増やすとともに、新たな返礼品として町内の飲食店などで利用できる現地決済型の電子クूपンを導入するなど、取り組みを進め寄附の募集を強化して、増加を図ってきたい。

問 本町への影響は。

答 総務部長 令和6年度ふるさと納税の受け入れ状況については、令和7年2月28日現在、寄附件数187件、寄附額609万5000円で、昨年度より寄附件数は44件、寄



(協力事業者の募集案内)

扶桑町総合計画のあり方は

見直す時期が来ている

問 扶桑町総合計画の必要性と策定は。

答 副町長 総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の3層構造になっており、1966年旧自治省が市町村計画策定方法研究報告書を総合計画のモデルとして提示したことにより自治体が採用してきた。2011年に地方自治法が改正され条文から基本構想がなくなった。地方分権のもと、身の丈に合った計画や町長の選挙公約にある事業などを盛り込んだ計画が必要であり、検討を重ねていく。

問 今後の扶桑町総合計画は、どのように考

えていくか。

答 副町長 現在、第5次扶桑町総合計画は中間見直しし、10年スパンの後期5年の計画としている。その中の個別計画ごとに町づくりを現在も進めている。国においても関連



桑政クラブ
かねまつ のぶゆき
兼松 伸行 議員



(第5次総合計画 実施計画)

が深い計画や内容が重複する計画は、一体的に策定したり、自治体の負担軽減、効率化に向けた動きもあり、既存の総合計画については、見直す時期が来ている。

組織改編による効果は

業務の効率化と 住民サービスの向上

問 令和5年4月から組織改編による効果をどのように感じているか。

答 総務部長 業務を集約したことにより各業務の意思決定の流れが簡素化され、従来よりも迅速かつ丁寧な対応が可能となった。今後も業務の効率化と住民サービスの向上に努める。

問 成果としてどのようなものがあるか。

答 総務部長 デジタル技術の活用や業務分担の適正化を進めることで事務効率率が上昇し、職員の時間外勤務が機構改革前後で20%以上の削減となった。

問 職員の早期退職の現状

答 総務部長 総務省の集計によると、自治体職員の早期退職が10年で約2.2倍となったとあるが本町の現状は。

答 総務部長 定年退職者を除く離職者は、令和3年度が6名、令和4年度が10名、令和

5年度が9名と当町においても自己都合退職者が増えている。新規採用職員の定着促進のため、他部署の先輩が後輩職員を支援する「メンター制度」を令和4年度から実施している。



桑政クラブ
おおかわら みつお
大河原光雄 議員



(組織改編による案内板)



追跡レポート その後どうなった

※これまでの一般質問や提言が、
町政にどう反映されているのか、追跡します。



地域の集積所から、資源
ごみを持ち去る行為に対し
て、禁止や罰則を定めた条
例制定が必要だと思いが。



今回、「扶桑町廃棄物の減量及
び適正処理等に関する条例」の一
部を改正し、資源ごみの所有権等
を加え、持ち去り行為を抑止する。

主な内容は、資源ごみの所有権
を町に帰属。また、町及び町から
収集運搬の委託を受けた事業者以
外のもは資源ごみを収集運搬し
てはならないとした。

令和6年度議会改革特別委員会の主な活動

※議会運営部会

- ・扶桑町議会会議規則の一部改正の検討
- ・扶桑町議会陳情取扱要領に関する質疑の検討
- ・ペーパーレス化についての検討
- ・扶桑町議会災害対策会議設置要綱についての検討

※広報広聴部会

- ・「扶桑町議会ソーシャルメディアの利用に関するガイドライン」を作成し施行
- ・町民との意見交換会開催(扶桑町ボランティア連絡協議会)
- ・来年度実施予定の「小中学生のフリースピーチ」日程協議

※議会だより編集特別委員会

- ・議会だより編集特別委員会 16 回開催
- ・愛知県町村議会議長会広報研修会の参加



(議会だより編集特別委員会の様子)

キラリ★ まち人紹介



柏森在住
兼松 敏子さん(86)

〈歳を重ねても、周りの人のために〉

3月末まで、扶桑町赤十字奉仕団に47年間在籍しました。扶桑町に住んで58年。人の役に立つことはとても楽しく、私の人生において最大の生きがいです。

昨年からは、柏森東町内会の仲間6人と一緒に毎月第1・3月曜日、コミュニティサロン「くろのカフェ」を開いています。引き続き、皆様の役に立てるよう、生涯現役で頑張ります。是非お越しくださいね。

〈親子3人で～町の安心を守る～〉

35年前、長男邦彦が誕生した年に入団しました。一番の思い出は、30歳の時に愛知県消防操法大会に操法要員として出場したことです。今は、6年前に入団した長男と、昨年4月に次男征希が入団しました。

家族で消防談話をする機会もあり、5歳になる孫が入団するまで健康で消防団活動が出来ると良いと考えています。消防団活動は、まちの安心を守るため日頃から訓練、啓発を行うものですが、同じまちに住む今まで知らない同世代、異業種の人たちと消防人として同志になり、いろいろなことを学ぶことの出来る素敵な団体と感じています。是非、新たな仲間がたくさん出来ることを期待します。



扶桑町消防団第3分団
柏森在住
稲垣 圭次さん(61)
稲垣 邦彦さん(35)
稲垣 征希さん(24)

お知らせ

【お詫び】

議会だより263号「キラリ☆まち人紹介」コーナーにおいて、名前の誤りがありました。

誤 北折愛理さん

正 北折愛里さん

訂正してお詫び申し上げます。



6月定例会の日程(予定)

6月 2日(月)	開会・提案説明
6月 6日(金)	一般質問
6月 9日(月)	一般質問
6月10日(火)	議案質疑
6月11日(水)	福祉教育常任委員会
6月12日(木)	総務経済常任委員会
6月19日(木)	委員長報告・討論・採決・閉会
場所:扶桑町役場2F議場等 時間:午前9時30分から (日程は変更になることがあります)	

「会議録検索システム」インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ

↓
扶桑町議会

↓
扶桑町議会
会議録検索システム



●3月定例会分は、6月2日に更新を予定しています。